

一、箏曲「令和薫風」
れいわくんぷう
 東京音楽出演

尾上 墨雪 市山 松扇
 花柳 寿楽 勝美 伊三次
 松本 幸龍 吾妻 寛穂
 藤間 龍彦 中丸フロッタ
 坂東 勲二 花柳 園喜輔
 藤見 華香 林島 金昇
 西川 喜晶 城東フロッタ
 西川 喜晶 城北フロッタ
 若柳 吉以 城北フロッタ

二、長唄「ねずみ」
ねずみ

茶屋娘妻は大ねずみ
 水木 扇 升
 石見銀山葉売り
 西川 扇衛仁

三、常磐津「京人形」
きやうにんぎょう


甚五郎 若柳 彦三衛門
 京人形 花柳 貴代人

四、義太夫「小栗曲馬物語」
おぐりきよばものがたり

井上 八千代

五、新邦楽「道成寺昔語」
どうじょうじむしがたり

庄司の娘清姫 備
 尾上 紫 珠太郎
 若山伏安珍 西川 一條 藤太朗
 花ノ本 寿 藤間 豊彦 藤間 延太郎
 上 人 藤間 涼太朗
 若柳 宗樹 若柳 三太郎



イヤホンガイド
 22日昼の部
 イヤホンガイドあり白巻

平成から令和へ、新元号を記念して協会東京支部が製作した新曲。舞踊と音楽で平和と安寧を願います。

振付・西川篤乃助
 作詞・織田紘二
 作曲・四代萩岡松韻

実は大ねずみの茶屋娘が、ねずみ捕り売り歩きをこらしめるといいう干支にちなんだ楽しい演目です。

振付・桶抱舟
 作曲・四代杵屋勝太郎

一途に想いをこめて彫った京人形が動き出します。最初は男のような動きですが、懐に鏡を入れると…。

京舞井上流のみに伝承される珍しい演目で、小栗判官にまつわる勇壮な一節を義太夫の語りにつけて舞います。

道成寺伝説を基に、安珍と清姫の愛に焦点をあて、新たな解釈で創作された現代の道成寺物語です。

振付・尾上墨雪
 作・海津勝一郎
 作曲・常磐津英寿

一、「若獅子」
わかしし

尾上 菊透 昌風生
 花柳 九州光 藤間 直三
 花柳 寿々彦 若見匠 祐助
 花柳 静久郎

平成26年に初演され話題となった本作、邦楽囃子の多彩な音色と男性日本舞踊家による圧倒的な群舞に期待ください。

振付・弧の会
 作曲・若獅子会

二、長唄「春調娘七種」
はるのしらべむすめななくさ

十郎 西川 扇左衛門
 静御前 花柳 秀衛
 五郎 若柳 里次朗

新春の七草と曾我狂言をからめた趣向が面白く、華やかな気分の中に古風さも楽しめる顔見世舞踊です。

三、地歌「きざす」

与五郎 山村 友五郎
 吾妻 吉村 古ゆう

物狂いの男・与五郎と恋人・吾妻の道行を描きます。上方舞らしい情趣豊かな雰囲気をお楽しみください。

四、清元「吉原雀」
よしわらすずめ

鳥売の男 若柳 壽延
 鳥売の女 藤間 恵都子

舞台は江戸の吉原、放生会に訪れた鳥売りの男女が、粹で艶っぽい廓遊びの雰囲気華やかに踊ります。

五、常磐津「腕久色神送」
わんきゆういろがみおくり

腕久 藤間 蘭黄
 松山 市川 翠扇
 番頭 花柳 寿太郎
 町娘 藤間 扇里
 若水 優里
 柳 絵莉香

大正に初演された数ある腕久物の中でも異色の演目で、腕久と松山の恋の悲劇をドラマティックに描きます。

一、箏曲「令和薫風」
れいわくんぷう
東京交番出演

尾上 墨雪
花柳 笹公 花柳 寿美蔵
若柳 吉優 藤木 里燕
榎若 勸代 水木 紅耶
花柳 昌克 喜衛文章
花柳 蘭昌 藤西 扇重郎
藤間 駒 藤西 秀暉
西川 大樹
花柳 大樹
坂東 映司
花東 仁風

二、長唄「風流陣」
ふうりゅうじん

梅の精 花柳 楽彩
桜の精 若柳 杏子
風の神 藤間 秀樹
泉 藤間 秀樹

三、清元「落人」
おちうと

お軽 中村 梅
早野勘亭 猿若 清三郎

四、奏風楽「おりき」
つなやかた

吾妻 徳穂

五、長唄「綱館」
つなやかた

真柴寅は次水童子 松本 幸四郎
渡辺源次綱 花柳 幸典

22日に続いて序幕を飾る本作品。歌詞には、令和の典拠となった万葉集「梅花の歌」が詠み込まれています。
振付・西川箕乃助
作詞・織田紘二
作曲・四代萩岡松韻

仲よく遊ぶ梅、桜、桃の花たちが天敵の風の神を畏にかけます。若柳十種の一つで、明るくメルヘンチックな人気曲です。
振付・初代若柳吉蔵

主君への不忠のため逃避行に旅立つ勘亭とお軽。若い二人の悲痛な恋の道行を切なくも美しく描きます。
振付・藤間勘祖

樋口一葉の小説「にこりえ」の主人公おりき。東京の下町で恋に生きる明治の女性を艶やかに映し出します。
振付・二代花柳壽應
作詞・駒井義之
作曲・清元梅吉

切り落とされた片腕を取り返すため綱の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、綱と壮絶な闘いを繰り広げます。
振付・西川鯉三郎

一、「烏鷺の曲」
うらぶく
きよく

花柳 智寿彦 坂東 はつ花
若柳 恵華 坂東 富起子
吾妻 寛彌 藤蔭 静千華
西川 申品 藤間 勘舞寿
花柳 和あやき 藤間 鶴香
花柳 寿華 若柳 鶯煮
花柳 基はるな 若柳 美香康

お互いのテリトリーを守るため争う鳥と鷺。傷つきながらも果てしない争いを女性群舞で描く創作舞踊です。
振付・坂東三信之輔・花柳昌太郎
作詞・杉昌郎
作曲・今藤政太郎

二、長唄「臥猫」
ふしねこ

牡猫 中村 橋之助
牝猫 若柳 佑輝子

牡猫と牝猫のほのぼのとした戯れを擬人化して踊ります。二人の男女のかわいい猫のしぐさに注目ください。
振付・二代目榎茂都扇性

三、長唄「賤機帯」
しずはたおび

狂女 藤間 洋子
舟長 西川 箕乃助

我が子を失い物狂いとなった狂女とその身の上を知り慰める舟長。哀切な物語が胸に響きます。
振付・藤間勘祖

四、清元「保名」
やすな

花柳 壽應

春の野辺、恋人神の前の死を哀しみ安倍保名がさまよいます。日本舞踊屈指の人気演目を新演出でご覧いただけます。

五、常磐津「戻橋」
もどりばし

水木 佑歌
花柳 基

新古演劇十種の一つで歌舞伎舞踊の名作「戻橋」で出会う小百合と渡辺綱。綱は小百合を鬼女と見抜きますが...。
振付・初代花柳壽輔

渡辺源次綱 花柳 昌克
從者左衛門太 花柳 昌克
從者右衛門太 藤間 直三